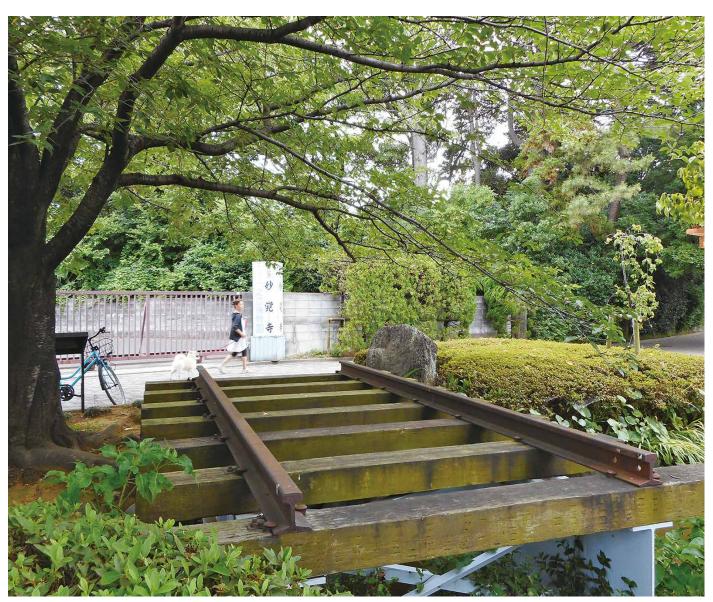
でさずしえどがわ

No.36

発行日 / 2017.11.1 創刊日 / 2007.4.10



http://www.sougou-jinsei-daigaku.net/



かつて今井街道を走っていた城東電車の軌道遺跡(一之江境川親水公園)

第14期生の皆様、ご入学むめでとうございます

10月4日、篠崎文化プラザにおいて、平成29年江戸川総合人生大学入学式が行われ、71名の方が入学されました。

当日は、北野学長や各学科長より歓迎の挨拶があり、多田区長からは励ましのお言葉を頂戴しました。

また、新入生を代表して江戸川まちづくり 学科の若松信行さんが抱負を述べられました。 これからの2年間、充実した学校生活を過ご し、成果を地域社会貢献へとつなげていきま しょう。



北野学長の式辞の様子



新入生代表の抱負の様子



地域のために自分の力を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな方を応援するために 江戸川区が開設した大学です。(*学校教育法で定める正規の大学ではありません。)

「介護。福祉学科」」から「介護。健康学科」「公

第14期(平成29年10月~)から名称が変更されました。 学科名変更への想いを村田幸子学科長が伝えます。

男女とも平均寿命が80歳を超えている今、誰もが「健康なら」長生きしたいと願っています。なぜ「健康なら」 と、クレジットがつくのでしょうか。それはもう一つの寿命である「健康寿命」との差が大きいからです。

「健康寿命」とは、人の世話にならずに元気で生きられる期間のことを言います。日本では男女とも、平均寿命と健康寿命の差がとても大きいのです。男性が9・02年、女性は12・4年です。平均寿命だけでなく健康寿命も伸ばす努力をすること。それが今、高齢者一人ひとりに求められていることです。

健康とは単に身体的なことだけをいうのではありません。精神的な健康、つまり生きがい、そして社会的な

健康、つまり社会と常にかかわる暮らしをすること。この3つが揃っていることが大事です。とはいえ、さまざまな理由から「介護が必要」となる方もおられます。その時には国の制度や地域の支援を得て安心して暮らせるよう、事前に準備しておくことが大事です。

豊かな高齢期を手に入れるため、健康づくりという予防の観点、そして要介護になった時の対処方法、その両者について学びたいと考え、 学科名を「介護・健康学科」と変更しました。

学科長 村田 幸子

第12期生76名が晴れやかに卒業!

平成29年江戸川総合人生大学卒業式

第12期生卒業式が9月11日、多田区長ご臨席のもと、タワーホール船堀で行われました。 各学科卒業生を代表して8名の方に、2年間の学校生活を振り返っていただきました。

江戸川まちづくり学科

まち12の素敵な仲間と 出会えた事、知らなかっ た区の良さを学べた事に 感謝。

寺崎 茂夫

級友、先生&大学、大切な絆をありがとう。今度は 地域と繋がろう!

飯島 恵美子

国際国目四目示了学科

卒業認定証が届いた時 ¦ は感無量。2年間が報わ ¦ れた思いでいっぱいです。 ¦ 大島 なお美

人大で経験したたくさ * "んの学びや出会いのおか * 人生げで、我が街、我が人生 * 実見へのワクワク感が倍増し * た。ました!!

木村 裕美

子ども。子育で応援学科

聞きたい! 知りたい!! 学びたい!!! が実現した2 年間。入学して良かった~ 佐藤 愛

"はじめの一歩"として 人生大学の門をくぐり充 実感いっぱいの2年間でした。

橋本 由紀枝

介護。福祉学科

学び実践する事が地域 社会の活性化に寄与。持 てる能力を還元し、豊かな 人生の共有を目指す。

鍋谷 絹恵

入学し良い友達と共に 関心のある学科を選択し、 2年間元気で過ごした事は 予想以上の成果です。

千葉 玉江









第12回江戸川総合人生力

~地域とともに~ 明日のためにできることを今はじめよう

恒例の第12回江戸川総合人生大学祭が、平成29年7月22日(土)10時から16時まで、 タワーホール船堀1階展示ホールと3階産業振興センターを会場に行われました。

在籍中の12期生、13期生が企画・運営するステージのパフォーマンスや展示・体験コーナー、 卒業生が運営する同窓会コーナーは、いずれも多くの来場者で賑わいました。



食べ物を無駄にしていませんか? おなかをす かせていませんか?

フードネット江戸川は、生活困窮者支援活動を 行う福祉ボランティア団体です。昨年8月に設立、 JR新小岩駅近くのルミエール商店街の一角で本 年6月に拠点であるステーションMを開所し、毎月 2回(第2木曜日、第4土曜日)の食品供給活動を 開始しました。賞味期限が十分に残っているにも かかわらず、廃棄されてしまう食品・食材(食品口 スは年間600万以超といわれています)を企業や 個人などから提供していただき、必要としている 人たちに無償で提供する活動を行っています。

提供された食料品をステーションMで保管し、 フードバンク食品であること、転売禁止、賞味期 限内の消費などの了解のもとで提供し、食料品を 渡す人も受け取る人も対等の立場で接することを 原則としています。

現在会員51名、事業の性質上収益は生まれず

会費と寄付金が頼りになっています。課題は資金 調達!! 食品の確保!! 今は「セカンドハーベスト・ ジャパンし(台東区)の協力を得ながら活動を続けて います。

今後は、ひとり親家庭や福祉施設・団体等へと 支援先を拡大し、更に「子ども食堂・学習支援」の 開設を視野に入れて活動したいと考えています。

連絡先:フードネット江戸川

理事長 堀田 英朋(子ども12期) TEL 090-8112-1571





ステーションM

利用者さんに応対するスタッフ

同窓会設立10周年



設立総会の模様



第1回ワークショップ(2012年)

1期・2期卒業生が中心になり、大学事務局の応援をいただいて設立され た江戸川総合人生大学同窓会は、今期10周年を迎えることになりました。 設立来、会員相互の親睦や会員の地域活動支援、学校運営への協力など、 幅広く積極的に活動を続けて今日に至っています。

1期から12期までの卒業生が参加する、会員数500名を越える大きな組 織になりました。

-方で、会員ニーズの多様化や地域社会・人生大学など関係諸方面との 繋がりの一層の強化など、課題も多く残っています。

10周年は大きな節目ではありますが、あくまで一つの通過点として、今後 とも同窓会の発展のため、会員相互および外部諸機関・諸団体との絆づく りを進めていきたいと思います。

同窓会の窓

「初心わするべからず」



世阿弥の「花鏡」という著書にある有名な言葉ですが、 「時々の初心・・」「老後の初心・・」と続くことから、ここでの 「初心」とは、よく言われる「初志」の意味ではなく、種々経験 を重ねても、その段階毎に、新人のようにフレッシュで謙 虚な気持ちをもって取り組め、と言う意味に捉えています。 江戸川総合人生大学は14期生が入学され、新学期を迎え

ました。同窓会も第11期に入りました。今年は同窓会10 周年を迎える年です。また新たな気持ちをもって、「初心 を忘れず」皆様とともに歩んで行きたいと思っています。

同窓会会長 前田 直義(国際9期)

同窓会ホームページ http://jinseidaidousou.web.fc2.com/ 人大ボラ連メールアドレス jindaiboraren@yahoo.co.jp

編集後記

大学祭、卒業式、入学式とイベントの報告的記事が多く、取材記事が 少ないため物足りなく感じた方もおられたかもしれません。しかし、学科 名称変更に対する村田学科長の想い、9月に卒業した12期生の想いを 感じていただけたでしょうか。

私たち12期生が編集に関わるのは本号が最後になります。一緒に活動し た13期生と新たに加わる14期生が、情報紙の編集を通じてその目的であ る江戸川総合人生大学と地域のつながりを育んでいくことを願っています。

編 集 長 箱島 実(まち12期)

編集:「ひと あい えどがわ」編集委員

【12期生】 榎本清一、箱島実(まち) 大島なお美、白坂敬三(国際) 一山輝江、堀田英朋(子ども) 熊谷富雄、西峰正二(介護)

【13期生】 大場千恵子、柴田正美(まち) 大野正夫、黒田健司(国際) 志賀直照、松本政子(子ども) 櫻井昇、松島珠美(介護)

D編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで 電話:03−3676−9075/FAX:03−3676−6545